

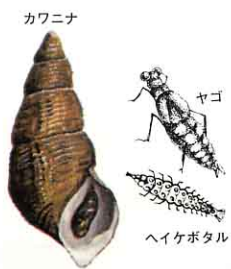
たちに、溪谷の美しさを^{たの}楽しませてくれます。

この西方溪谷は典型的なV字谷であり、地盤も良かったので三春ダム建設の絶好の地とされたのです。

(2) ^{さくらがわ}桜川

町の中心を、ほぼ東の方から西へ流れている川が^{さくらがわ}桜川である。^{せりがさわ}芹ヶ沢地内から流れ出し、^{こおりやま}郡山市の^{こいずみ}小泉地内で阿武隈川にそそいでいる。長さは約12km、高度差約170mである。

^{くりばやし}芹ヶ沢から^{くりばやし}栗林地内にかけて、左岸は急ながけになっている。大雨のときなどは小きながけくずれが起こりやすい。



このあたりの土は、カコウ岩が^{ふうか}風化したものである。川の中には、カワニナやホタルの^{ようちゅう}幼虫やヤゴなどがいる。カワニナは^{まがい}巻き貝の一種で、ホタルの幼虫のえきになる。

^{しみず}清水地内を過ぎると、川は道路からはなれて流れているので、ちょっと人目につきにくい。このあたりは南側の^{がわ}斜面が^{しやめん}高いがけになっていて自然のままの^{ようす}桜川の様子が見られる。

大町、中町と下っていくにつれて^{しらかべ}白壁の^{どぞう}土蔵などが見え、^{じょうか}城下町の名



中町地内を流れる桜川